

2013年6月27日

『週刊ファミ通』発表。ゲームファンが選んだ 7月放送開始のテレビアニメ・ドラマ期待度ランキング。 ～アニメ1位は「銀の匙」、ドラマ1位は「シヨムニ 2013」～

毎週木曜日発行のゲーム総合情報誌『週刊ファミ通』（エンターブレイン、本社：東京都千代田区、社長：浜村弘一、編集長：林克彦）は、本日6月27日発売の『週刊ファミ通』7月11日号における新コーナー「ファミ通トレンドウォッチ」にて、ゲームファンが選んだ7月放送開始のテレビアニメ・ドラマ期待度ランキングを発表しました。（調査期間：2013年6月17日～6月18日）

●7月放送開始のテレビアニメ ゲームファンによる期待度ランキングTOP10

※順位、得票数、サンプル数の()内の数字は非ゲームユーザーの調査結果

n=2682(4693)

順位※	タイトル	放送局(一部)	得票数※
1(1)	銀の匙 Silver Spoon	フジテレビ	474(417)
2(2)	あの日見た花の名前を僕達はまだ知らない。(再放送)	フジテレビ	307(282)
3(3)	ローゼンメイデン	TBS	286(205)
4(4)	神のみぞ知るセカイ 女神篇	テレビ東京	248(193)
5(8)	Fate/kaleid liner プリズマ☆イリヤ	TOKYO MX	237(157)
6(14)	ダンガンロンパ 希望の学園と絶望の高校生 The Animation	TBS	233(108)
7(5)	空の境界	TOKYO MX	224(179)
8(5)	<物語>シリーズセカンドシーズン	TOKYO MX	217(179)
9(7)	私がモテないのはどう考えてもお前らが悪い!	テレビ東京	203(171)
10(12)	ロウきゅーぶ! SS	TOKYO MX	173(121)

●7月放送開始のテレビドラマ ゲームファンによる期待度ランキングTOP10

※順位、得票数、サンプル数の()内の数字は非ゲームユーザーの調査結果

n=2682(4693)

順位※	タイトル	放送局(一部)	得票数※
1(1)	シヨムニ 2013	フジテレビ	518(992)
2(2)	救命病棟 24時 5	フジテレビ	500(956)
3(3)	斉藤さん 2	日本テレビ	271(575)
4(7)	警部補 矢部謙三 2	テレビ朝日	258(376)
5(8)	Oh,MyDad!!(オー、マイ・ダッド!!)	フジテレビ	199(367)
6(4)	SUMMER NUDE(サマーヌード)	フジテレビ	194(417)
7(6)	半沢直樹	TBS	192(396)
8(15)	悪霊病棟	TBS/MBS	185(239)
8(5)	DOCTORS2 最強の名医	テレビ朝日	185(405)
10(12)	孤独のグルメ Season3	テレビ東京	181(269)

【「ファミ通トレンドウォッチ」今回の調査結果について】

テレビアニメ、ドラマの両部門とも、それぞれ人気と実績のある作品が上位を占める結果となりました。テレビアニメ部門では、「銀の匙 Silver Spoon」がトップでした。注目すべきは、ランキング6位の「ダンガンロンパ 希望の学園と絶望の高校生 The Animation」です。同作品は人気ゲームを原作とし、今回初のアニメ化ということで、ゲームファンによる期待値が際立って高い結果となっています。また、ゲーム化されているアニメ作品としては、ライトノベルを原作とした「ロウきゅーぶ！SS」についてもゲームファンとの親和性の高さが伺えます。

ドラマ部門においても、シリーズとして知名度の高い作品が上位となっています。1位は人気シリーズの続編である「ショムニ 2013」、2位に僅差で「救命病棟24時 5」がランクイン、3位以下を大きく引き離す結果となりました。「ショムニ 2013」については、6月18日に19歳の新人アーティスト Serenaが主題歌を担当することが発表され、インターネット上で話題を集めました。また、そのほかのドラマ作品では、「警部補 矢部謙三2」や「悪霊病棟」がゲームファンからの期待が高く、人気コミックを原作とした「孤独のグルメ Season3」とあわせ、主に男性からの支持を集めているようです。

【ファミ通トレンドウォッチとは】

エンターテインメント分野の消費動向調査から、ゲームファンの生活スタイルと嗜好を分析する、『週刊ファミ通』の新コーナー。7月11日号の誌面では、ゲームファンが選んだ7月放送開始のテレビアニメ・ドラマの期待度ランキングをTOP20まで掲載しています。

【調査概要】

調査対象 : 自社で運営する eb-i の20万人のモニターから、継続的に家庭用ゲーム機で遊んでいる15歳から49歳までのユーザー2682人(男性1681人、女性1001人)と、同年齢層の遊んでいないユーザー4693人(男性2260人、女性2433人)を抽出。
調査手法 : インターネットリサーチ。編集部が独自に選定した76新番組より複数回答。
調査期間 : 2013年6月17日～6月18日

【eb-iとは】

『eb-i(enterbrain insight)』は、ファミ通(エンターブレイン)が2013年1月より週単位で継続して行っている、エンターテインメント分野の消費動向調査です。保有している全国20万モニターから週次で1万超を回収し、エンターテインメント分野の実態を調査・分析しています。

【「ファミ通」について】

ファミ通グループでは、ゲーム総合情報誌「週刊ファミ通」をはじめとするファミ通各誌、「ファミ通.com」や「ファミ通 App」といったゲーム情報サイト、ゲームバラエティ番組「ファミ通 LIVE」など、様々なゲーム情報サービスを展開しています。また、電子出版事業にも積極的に取り組み、「週刊ファミ通」電子版や、ゲーム攻略本・設定資料集の電子書籍を多数配信しています。さらに、全国約3600店舗のファミ通協力店からゲームの売上データを集計し、5月31日に「ファミ通ゲーム白書2013」を発刊するなど、ゲームマーケティングサービスも行なっています。